

中山間地域の活動組織を生かして作成した人・農地プラン

おいしだ じねご

(山形県大石田町次年子地域(H24.8作成、H27.3見直し))

《概要・データ》

地域の特徴	山形県内陸の北側に位置する山間地。水稻を中心に、担い手農家は山菜（ワラビ）の作付にも取り組んでいる。 地域内農家数20戸、地域内農地面積50ha。
中心経営体	個別経営7名
出し手となる農業者	1名《提供予定農地面積1.3ha》
農地集積	現状(H23)30ha(集積率60%)→目標(H28)40ha(集積率80%)



〔水稻を中心に担い手に集積が進む水田。小さな水田も多い〕



〔次年子地区は「そば」が有名な地区内でも作付供給されている〕

《特徴的な取組》

- ・平成21年に設立された農用地利用改善団体を中心に、継続的に農地の問題等を話し合ってきており、これをベースに人・農地プランの作成に取り組んだ。
- ・プランの話合い等を通じて、農地中間管理機構を使ったメリット措置（機構集積協力金）を活用して農地集積を推進することとしており、また、担い手不足解消のために農業後継者を段階的に育成していく方針。
- ・平成27年度の経営所得安定対策の加入要件変更に当たり、小規模のそば生産者も加入できるように、各地の人・農地プランに位置づけられた任意組織が農協の指導の下話合いを行った結果、加入要件を満たす町全体を管轄する集落営農の立ち上げに繋がった。

《プラン作成・見直しの経緯》

- ・平成24年8月1日 プラン作成
- ・平成25年5月13日 プラン見直し
- ・平成26年3月31日 プラン見直し
- ・平成27年3月27日 プラン見直し

(大石田町位置図)

